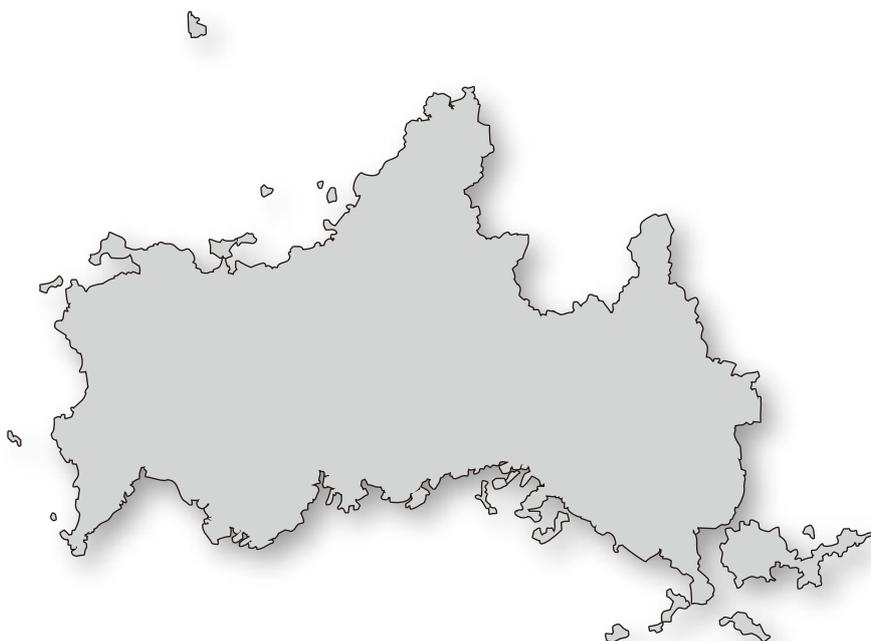


山口県商工会地域 中小企業景況調査報告書

2025年4月－6月期



調査要項	1P
1 山口県 全産業	2P
2 山口県 製造業	3P・4P
3 山口県 建設業	5P・6P
4 山口県 小売業	7P・8P
5 山口県 サービス業	9P・10P
6 全国 全産業	11P
7 山口県 調査対象企業の声	12P～14P

2025年7月23日
山口県商工会連合会

調査要項

1 調査趣旨

この調査は、商工会地域の企業活動状況を把握するため、独立行政法人中小企業基盤整備機構の委託を受けて全国商工会連合会が実施するもので、本会はこれら貴重な景況情報を「山口県商工会地域中小企業景況調査報告書」としてまとめ、商工会の経営改善普及事業の効果的实施に資することを目的とする。(年4回発行)

2 調査対象地区及び対象企業等

- (1) 全国商工会連合会により指定された 614 地区の商工会のうち、山口県は 10 商工会 150 企業を調査対象として指定する。
- (2) 調査対象区域は地域人口等に配慮し、県東部・中部・西部・北部地域の商工会とし、製造業及び建設業は従業員 20 名以下、小売業及びサービス業は従業員 5 名以下の企業規模を対象とする。
- (3) 調査対象企業は、1 商工会地域につき 15 企業とし、業種は製造業、建設業、小売業及びサービス業（サービス業は飲食店、宿泊業、洗濯業、理美容その他のサービス）の 4 種類とする。

3 調査対象期間及び調査時点等

- ・調査対象期間及び調査内容は 2025 年 4-6 月期における前期及び前年同期に対する景況感(現況)と来期(2025 年 7-9 月期)における景況見通しを調査した。
- ・調査は 2025 年 5 月 21 日から 6 月 5 日の期間に実施した。
- ・調査方法は商工会経営指導員による聴き取りでおこなった。

4 回答企業数内訳

業種	対象企業	構成比	回答企業	回答率
製造業	29	19.3%	29	100.0%
建設業	29	19.3%	29	100.0%
小売業	42	28.0%	42	100.0%
サービス業	50	33.4%	50	100.0%
合計	150	100.0%	150	-

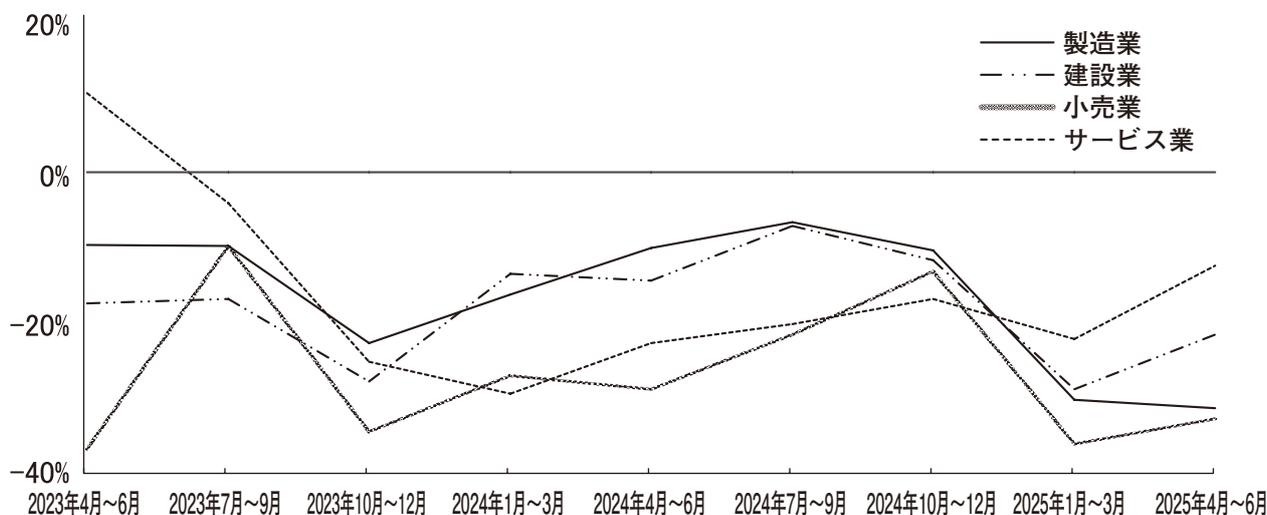
5 業況判断指標

景況を示す業況判断指標は、Diffusion Index (DI) を用いた。DI は前年同期(基準)に対する変化の方向については、上昇(好転)とする回答割合から低下(悪化)とする回答割合を差引いた数値で、「変化の趨勢を示す指標」として用いられている。

※DI がプラスの場合は「強気・楽観」傾向つまり上昇機運にあるとされ、マイナスの場合は「弱気・悲観」傾向つまり低下機運にあるとされている。また、プラス・マイナスが同数(DI ゼロ)の場合は変化がないことを示す。

1. 山口県 全産業

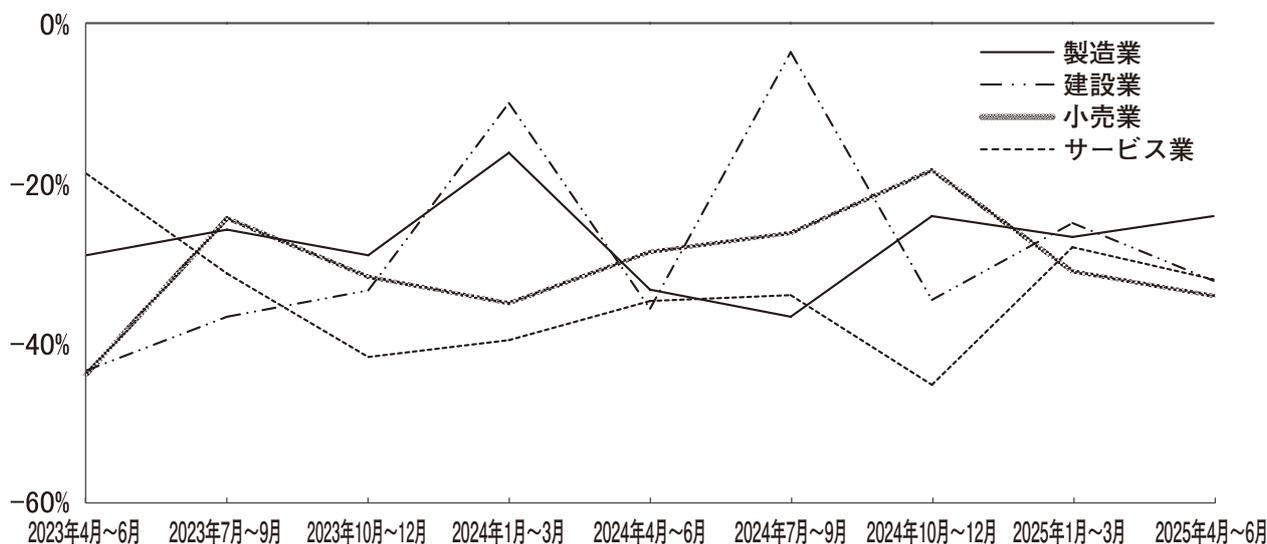
1 売上（完成工事）額の推移 —前年同期比—



D I 値 製造業 - 31.1 (前期は - 30.0、前年同期は - 10.0)、建設業 - 21.4 (前期は - 28.6、前年同期は - 14.3)、小売業 - 32.5 (前期は - 35.8、前年同期は - 28.6)、サービス業 - 12.3 (前期は - 22.0、前年同期は - 22.5)

業況D I 値 製造業 - 27.6 (前期は - 30.0、前年同期は - 26.7)、建設業 - 21.5 (前期は - 39.3、前年同期は - 21.5)、小売業 - 35.0 (前期は - 26.2、前年同期は - 26.8)、サービス業 - 22.0 (前期は - 22.0、前年同期は - 32.7)

2 採算の推移 —前年同期比—

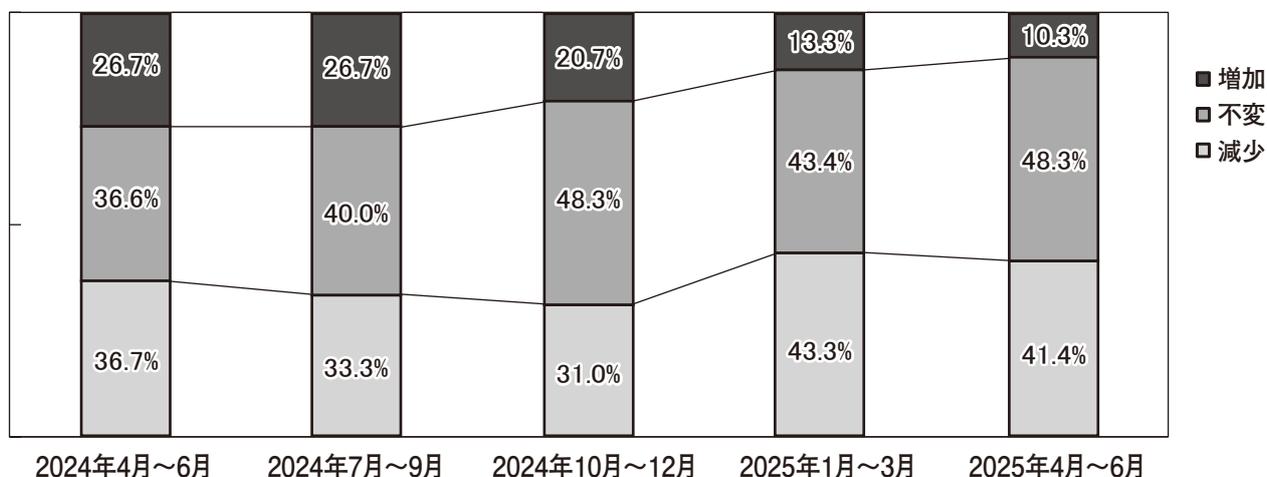


D I 値 製造業 - 24.1 (前期 - 26.7、前年同期は - 33.3)、建設業 - 32.2 (前期 - 25.0、前年同期は - 35.7)、小売業 - 34.1 (前期は - 31.0、前年同期は - 28.6)、サービス業 - 32.0 (前期は - 28.0、前年同期は - 34.7)

資金繰りD I 値 製造業 - 17.2 (前期は - 16.6、前年同期は - 6.6)、建設業 - 20.7 (前期 - 25.0、前年同期は - 25.0)、小売業 - 25.0 (前期は - 23.8、前年同期は - 24.4)、サービス業 - 26.0 (前期は - 18.0、前年同期は - 24.5)

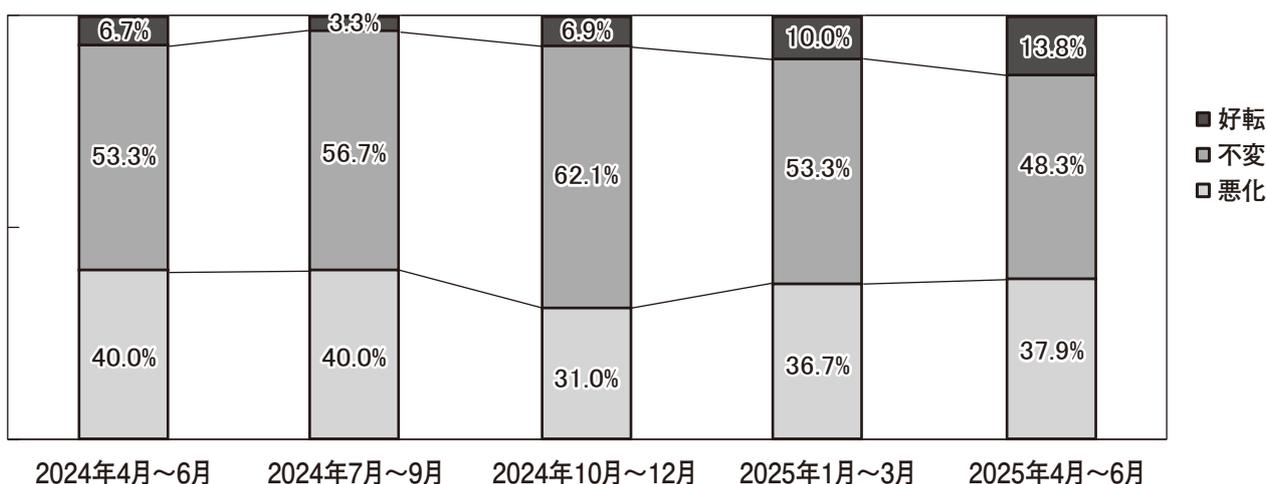
2. 山口県 製造業

1 ①売上額の状況 —前年同期比—



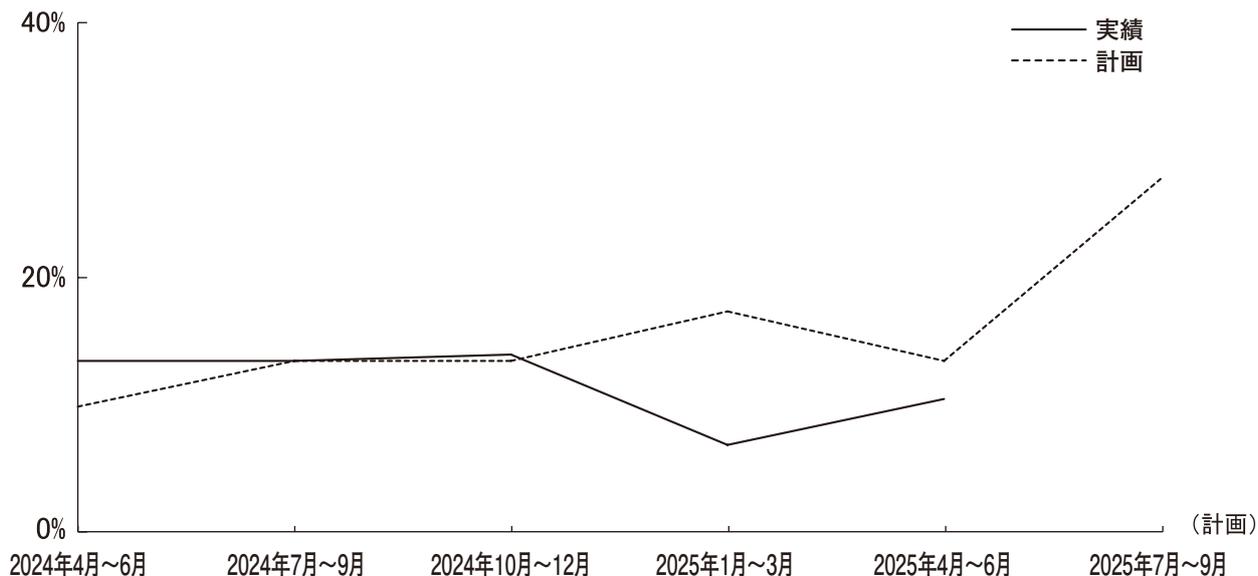
- ②前期と比較 「増加」は 10.3%（前期は 10.0%、前年同期は 23.3%）、「不変」51.8%（前期は 46.7%、前年同期は 46.7%）、「減少」37.9%（前期は 43.3%、前年同期は 30.0%）
- ③来期見通し 「好転」6.7%（前期は 17.2%、前年同期は 12.9%）、「不変」53.3%（前期は 51.8%、前年同期は 64.5%）、「悪化」40.0%（前期は 31.0%、前年同期は 22.6%）
- ④その他のD I 値 原材料在庫数量 - 6.9（前期は - 17.2、前年同期は - 20.7）、製品在庫数量 - 11.1（前期は - 13.8、前年同期は - 18.5）、売上単価 20.7（前期は 23.4、前年同期は 40.0）、売上数量 - 31.0（前期は - 43.4、前年同期は - 30.0）

2 ①採算の状況 —前年同期比—



- ②来期見通し 「好転」3.3%（前期は 3.4%、前年同期は 9.7%）、「不変」56.7%（前期は 65.6%、前年同期は 74.2%）、「悪化」40.0%（前期は 31.0%、前年同期は 16.1%）
- ③資金繰り 前期と比較で、「好転」0.0%（前期は 3.3%、前年同期は 6.7%）、「不変」75.9%（前期は 76.7%、前年同期は 80.0%）、「悪化」24.1%（前期は 20.0%、前年同期は 13.3%）
来期見通しは、「好転」3.3%（前期は 6.9%、前年同期は 3.2%）、「不変」66.7%（前期は 72.4%、前年同期は 83.9%）、「悪化」30.0%（前期は 20.7%、前年同期は 12.9%）

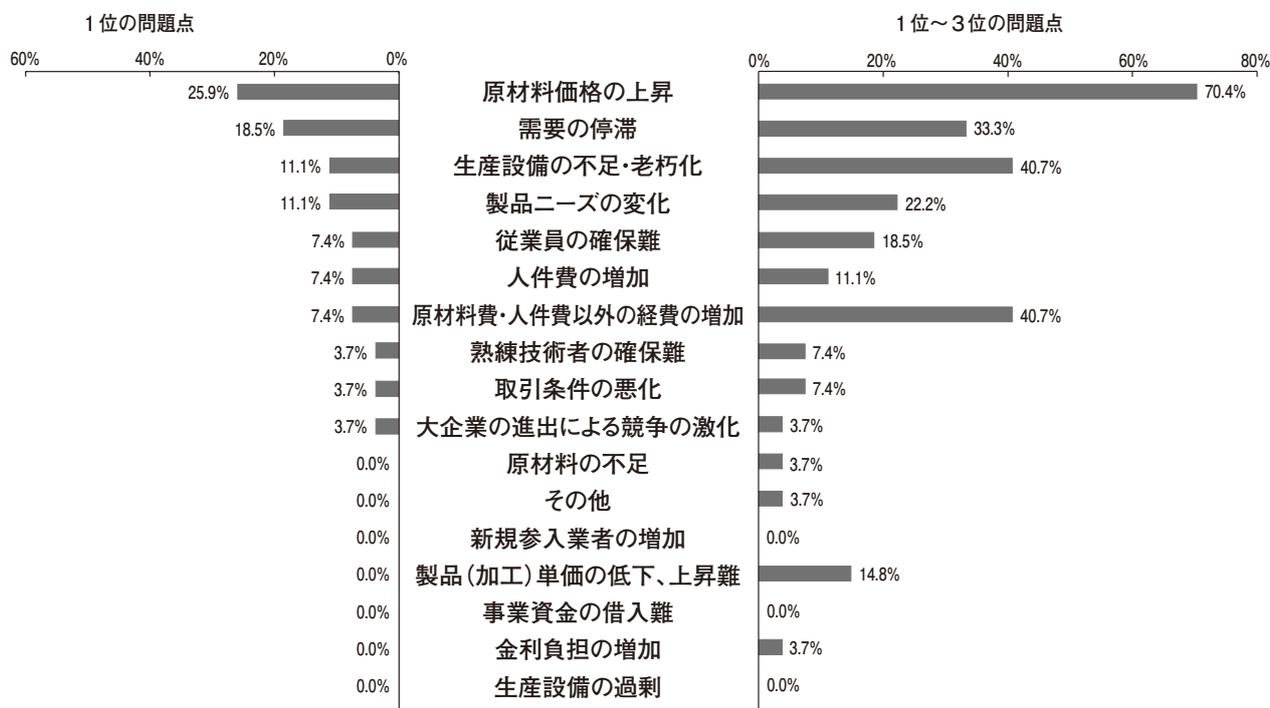
3 設備投資の状況



今期に新規設備投資を実施した企業3社（生産設備1、付帯施設1、OA 機器1）、実施しなかった企業26社。来期に設備投資を予定している企業8社（生産設備6、車両・運搬具2、工場建物1、OA 機器1）、予定していない企業21社。

設備操業率D I 値 -18.5（前期は-33.4、前年同期は-25.0）

4 経営上の問題点の状況（1位と1～3位）

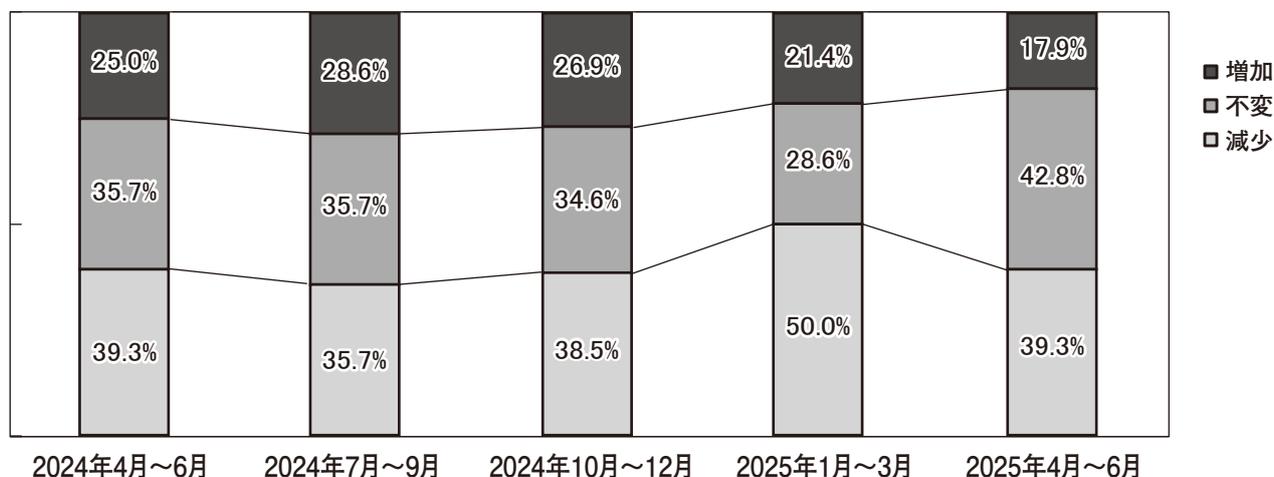


「原材料価格の上昇」・「需要の停滞」の割合が低下し、「製品ニーズの変化」・「原材料費・人件費以外の経費の増加」の割合が上昇した。

借入金利 前期と比較で、「好転」8.3%（前期 7.7%、前年同期は 12.5%）、「不変」87.5%（前期は 92.3%、前年同期は 83.3%）、「悪化」4.2%（前期は 0.0%、前年同期は 4.2%）

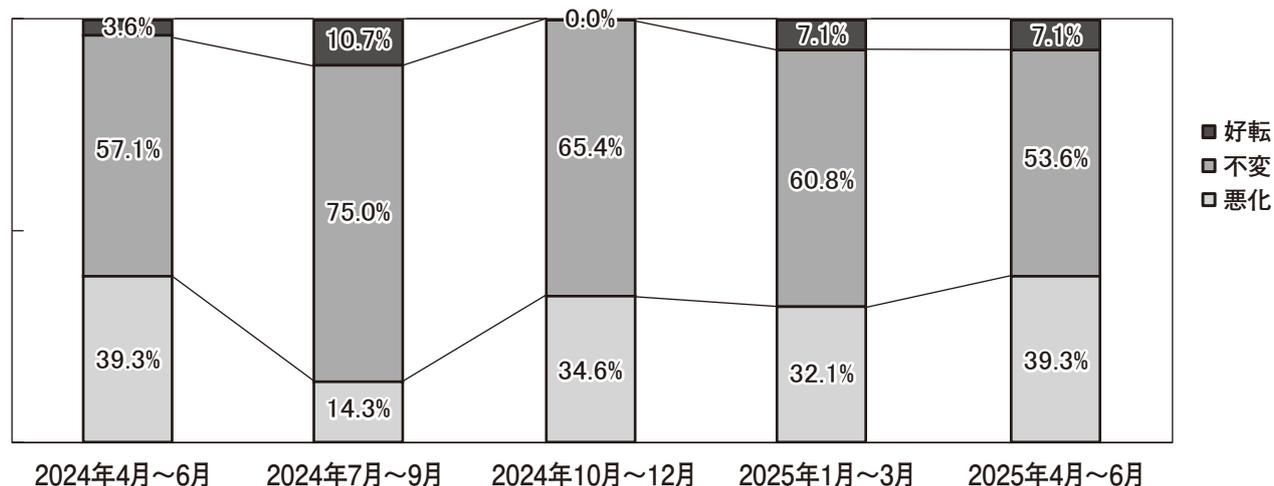
3. 山口県 建設業

1 ①完成工事額の状況 —前年同期比—



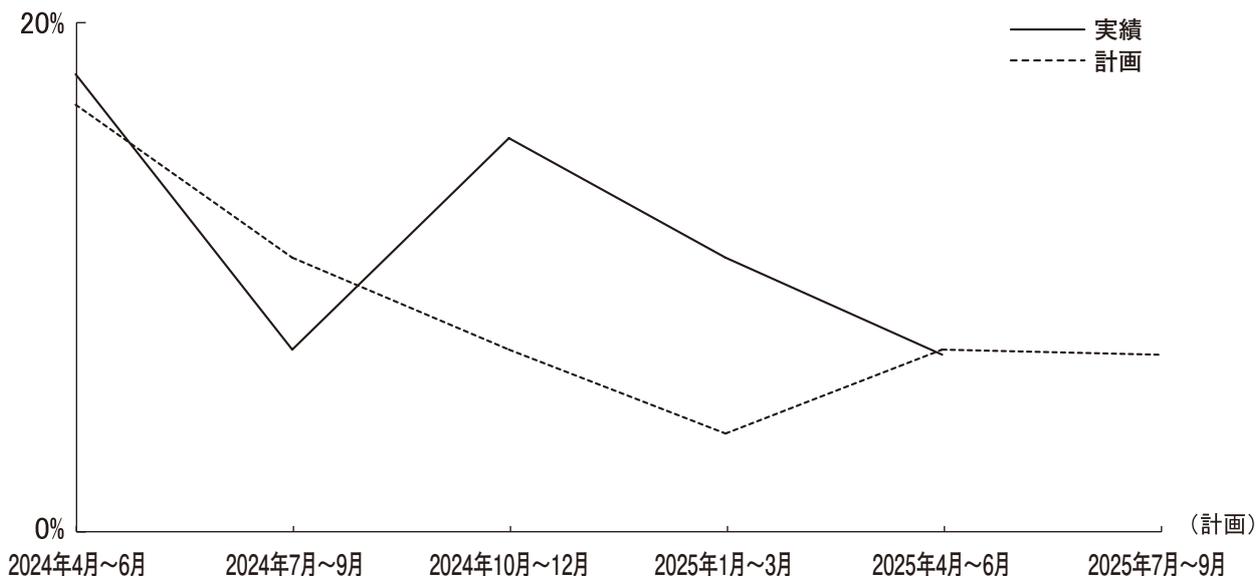
- ②前期と比較 「増加」21.4%（前期は21.4%、前年同期は17.9%）、「不変」39.3%（前期は42.9%、前年同期は39.2%）、「減少」39.3%（前期は35.7%、前年同期は42.9%）
- ③来期見通し 「好転」14.3%（前期は7.7%、前年同期は20.0%）、「不変」50.0%（前期は53.8%、前年同期は36.7%）、「悪化」35.7%（前期は38.5%、前年同期は43.3%）
- ④その他のD I 値 新規契約工事額－27.6（前期は－39.3、前年同期は－7.1）、材料仕入単価75.9（前期は71.4、前年同期は89.3）、引合い－7.7（前期は－16.0、前年同期は－8.4）

2 ①採算の状況 —前年同期比—



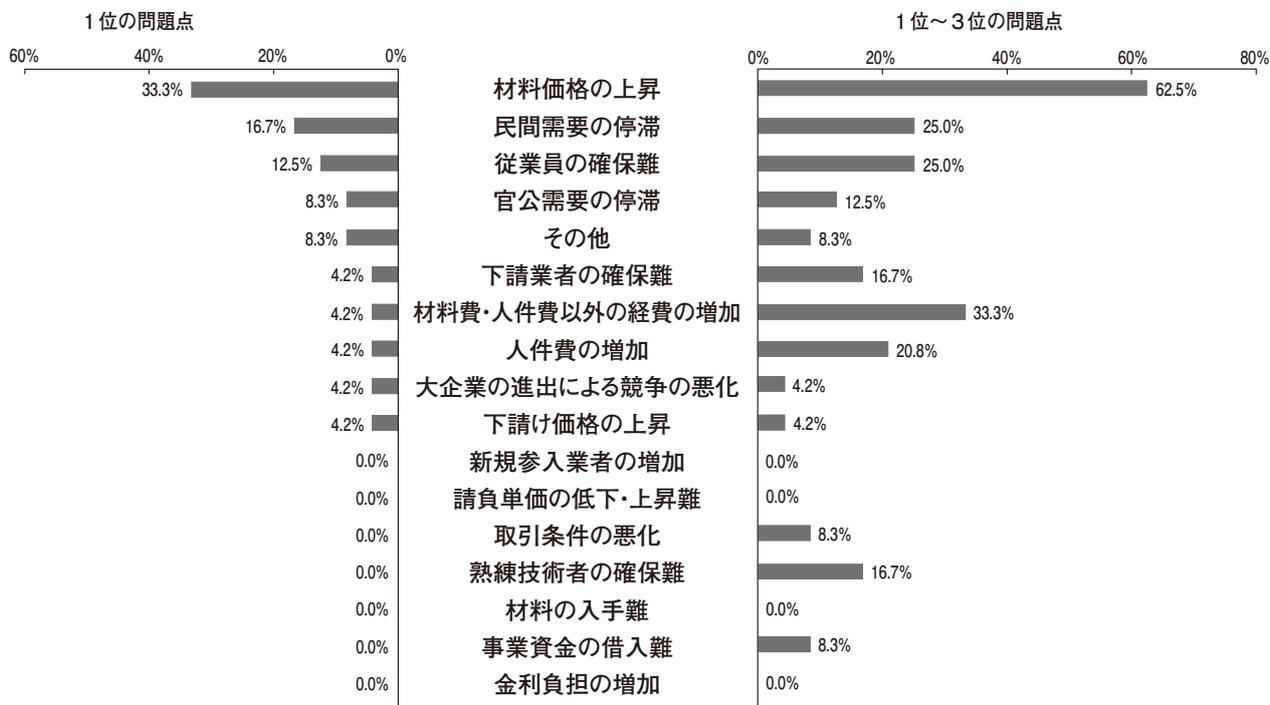
- ②来期見通し 「好転」0.0%（前期は3.8%、前年同期は3.3%）、「不変」71.4%（前期は77.0%、前年同期は70.0%）、「悪化」28.6%（前期は19.2%、前年同期は26.7%）
- ③資金繰り 前期と比較で、「好転」0.0%（前期は3.6%、前年同期は3.6%）、「不変」79.3%（前期は75.0%、前年同期は64.3%）、「悪化」20.7%（前期は21.4%、前年同期は32.1%）。来期見通しは、「好転」3.6%（前期は3.8%、前年同期は6.7%）、「不変」75.0%（前期は80.8%、前年同期は60.0%）、「悪化」21.4%（前期は15.4%、前年同期は33.3%）

3 設備投資の状況



今期に新規設備投資を実施した企業2社（土地1、建設機械1）、実施しなかった企業27社。来期に設備投資を予定している企業2社（土地1、OA 機器1）、予定していない企業27社。

4 経営上の問題点の状況（1位と1～3位）

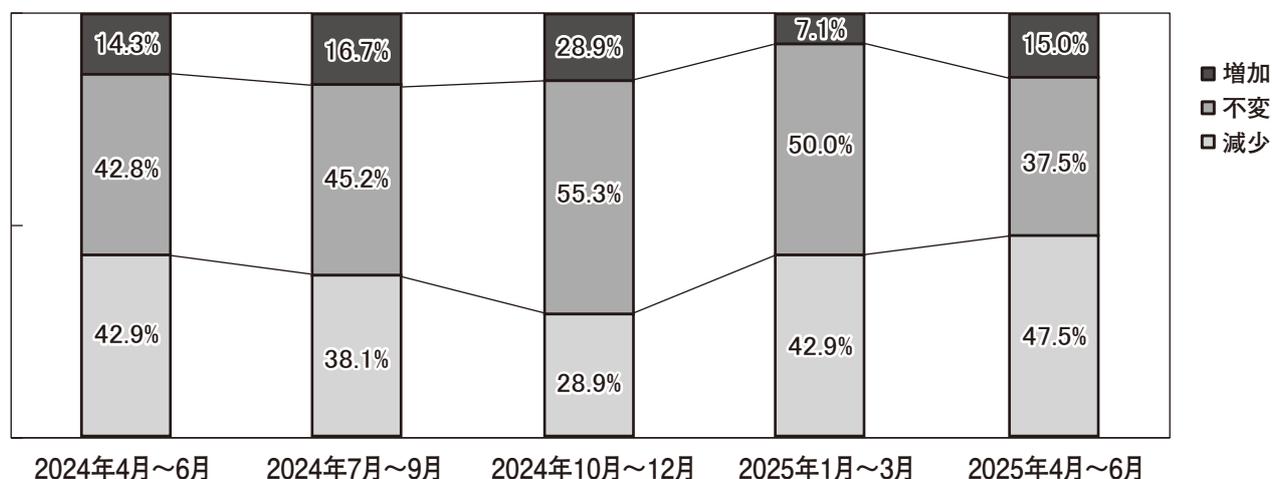


「材料価格の上昇」・「新規参入業者の増加」の割合が低下し、「その他」・「民間需要の停滞」の割合が上昇した。

借入金利 前期と比較で、「好転」25.0%（前期は17.4%、前年同期は0.0%）、「不変」75.0%（前期は78.3%、前年同期は100.0%）、「悪化」0.0%（前期は4.3%、前年同期は0.0%）

4. 山口県 小売業

1 ①売上額の状況 ー前年同期比ー

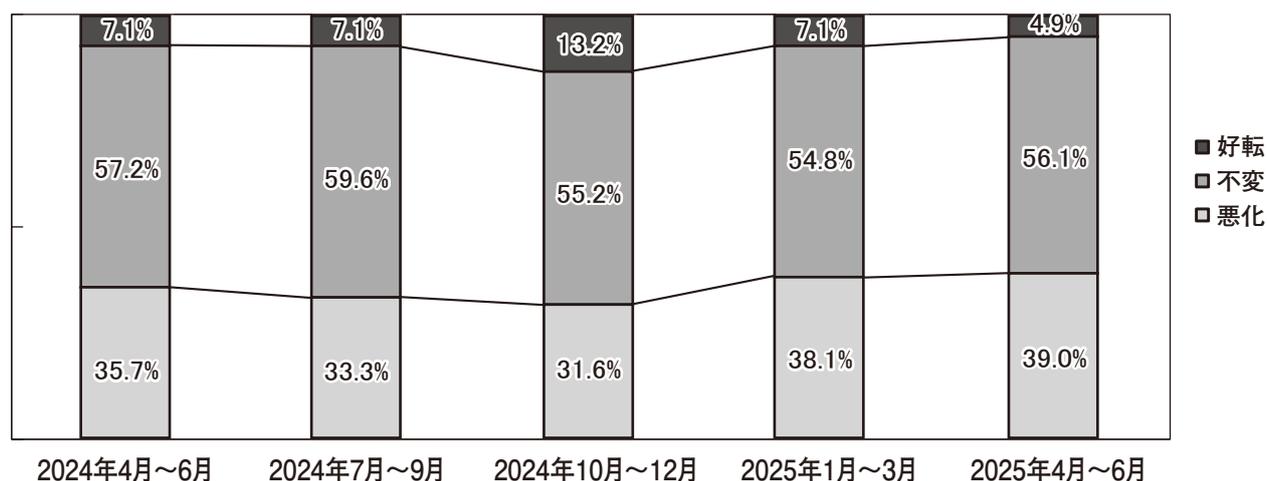


②前期と比較 「増加」22.5%（前期は9.5%、前年同期は26.2%）、「不変」37.5%（前期は42.9%、前年同期は35.7%）、「減少」40.0%（前期は47.6%、前年同期は38.1%）

③来期見通し 「好転」7.1%（前期は13.2%、前年同期は19.5%）、「不変」54.8%（前期は55.2%、前年同期は43.9%）、「悪化」38.1%（前期は31.6%、前年同期は36.6%）

④その他のD I値 客単価-17.5（前期は-4.7、前年同期は-2.3）、客数-42.5（前期は-35.7、前年同期-38.1）、商品仕入単価 57.5（前期は52.4、前年同期は54.8）

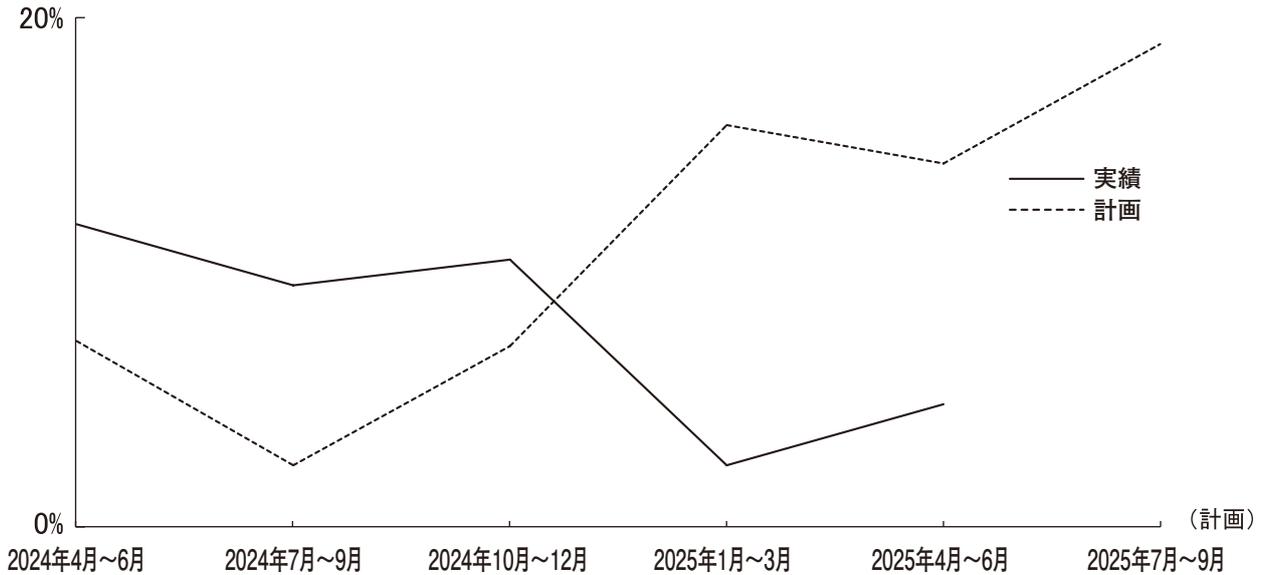
2 ①採算の状況 ー前年同期比ー



②来期見通し 「好転」4.8%（前期は10.5%、前年同期は7.5%）、「不変」61.9%（前期は57.9%、前年同期は62.5%）、「悪化」33.3%（前期は31.6%、前年同期は30.0%）

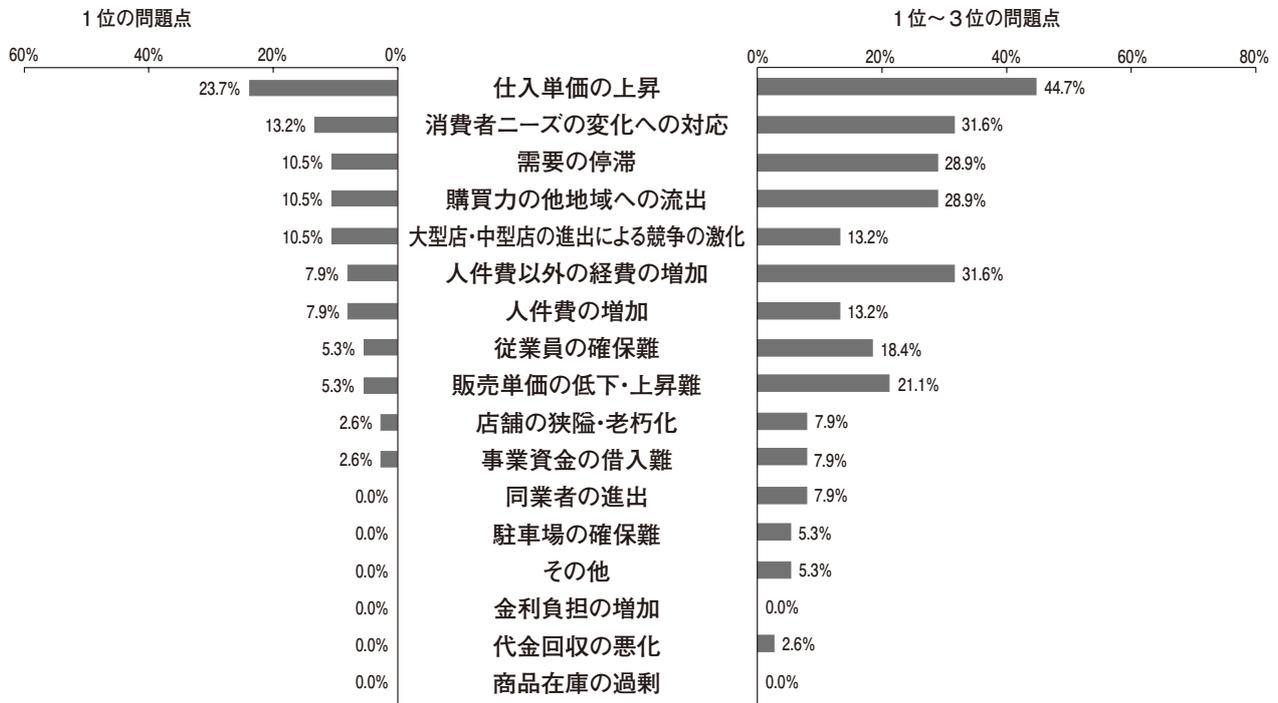
③資金繰り 前期と比較で、「好転」2.5%（前期は0.0%、前年同期は4.9%）、「不変」70.0%（前期は81.0%、前年同期は68.3%）、「悪化」27.5%（前期は19.0%、前年同期は26.8%）
来期見通しは、「好転」2.4%（前期は0.0%、前年同期は5.0%）、「不変」73.8%（前期は81.1%、前年同期は72.5%）、「悪化」23.8%（前期は18.9%、前年同期は22.5%）

3 設備投資の状況



今期に新規設備投資を実施した企業2社（店舗2、販売設備1、OA 機器1）、実施しなかった企業40社。来期に設備投資を予定している企業8社（OA 機器4、販売設備4、車両・運搬具2、付帯施設2、店舗1）、予定していない企業34社。

4 経営上の問題点の状況（1位と1～3位）

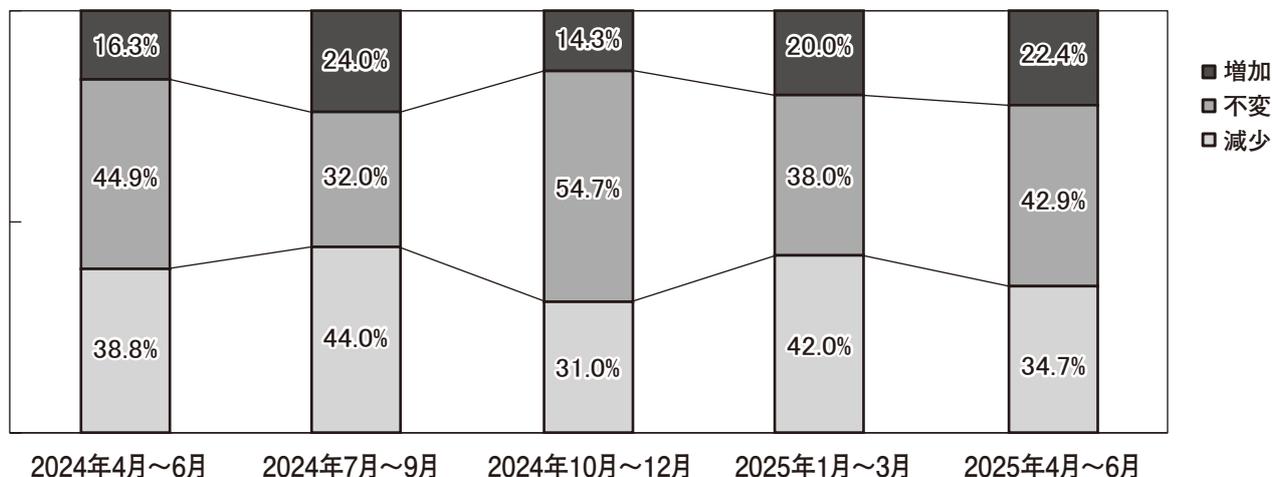


「仕入単価の上昇」・「同業者の進出」の割合が低下し、「購買力の他地域への流出」・「大型店・中型店の進出による競争の激化」の割合が上昇した。

借入金利 前期と比較で、「好転」13.8%（前期は8.8%、前年同期は3.1%）、「不変」82.8%（前期は91.2%、前年同期は93.8%）、「悪化」3.4%（前期は0.0%、前年同期は3.1%）

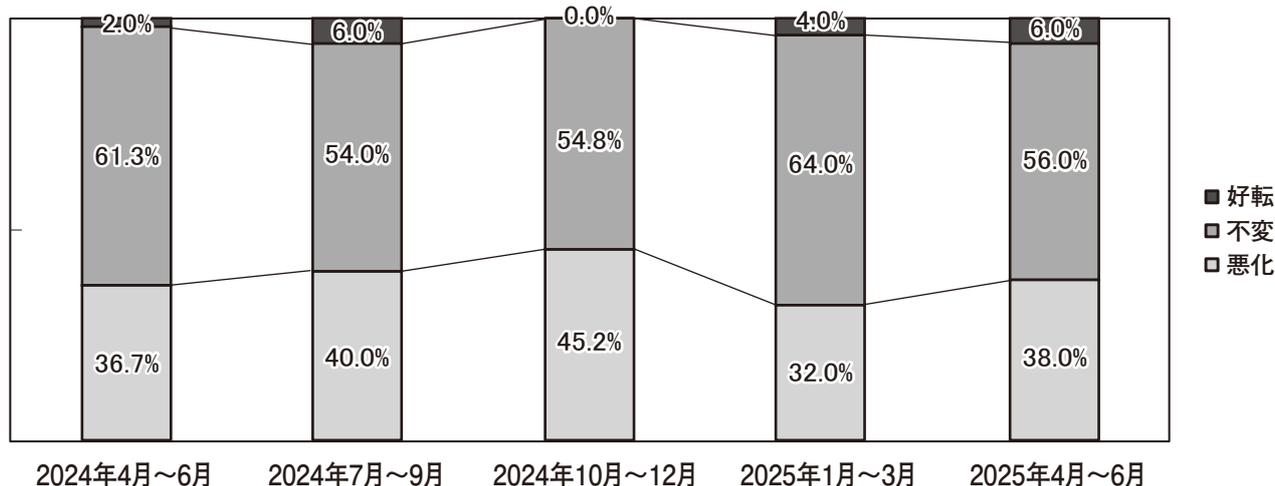
5. 山口県 サービス業

1 ①売上額の状況 ー前年同期比ー



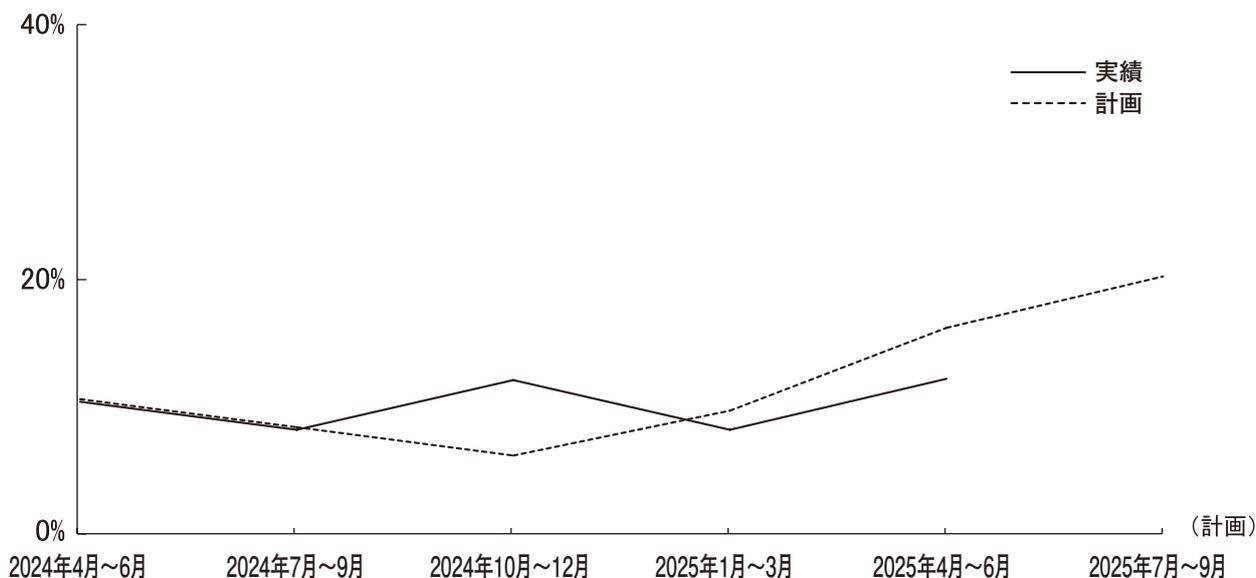
- ②前期と比較 「増加」26.0%（前期は16.0%、前年同期は28.6%）、「不変」38.0%（前期は40.0%、前年同期は38.7%）、「減少」36.0%（前期は44.0%、前年同期は32.7%）
- ③来期見通し 「好転」20.0%（前期は7.1%、前年同期は14.6%）、「不変」52.0%（前期は64.3%、前年同期は54.1%）、「悪化」28.0%（前期は28.6%、前年同期は31.3%）
- ④その他のD I 値 客単価 4.0（前期は6.0、前年同期は-10.2）、利用客数 -32.0（前期は-28.0、前年同期は-20.8）

2 ①採算の状況 ー前年同期比ー



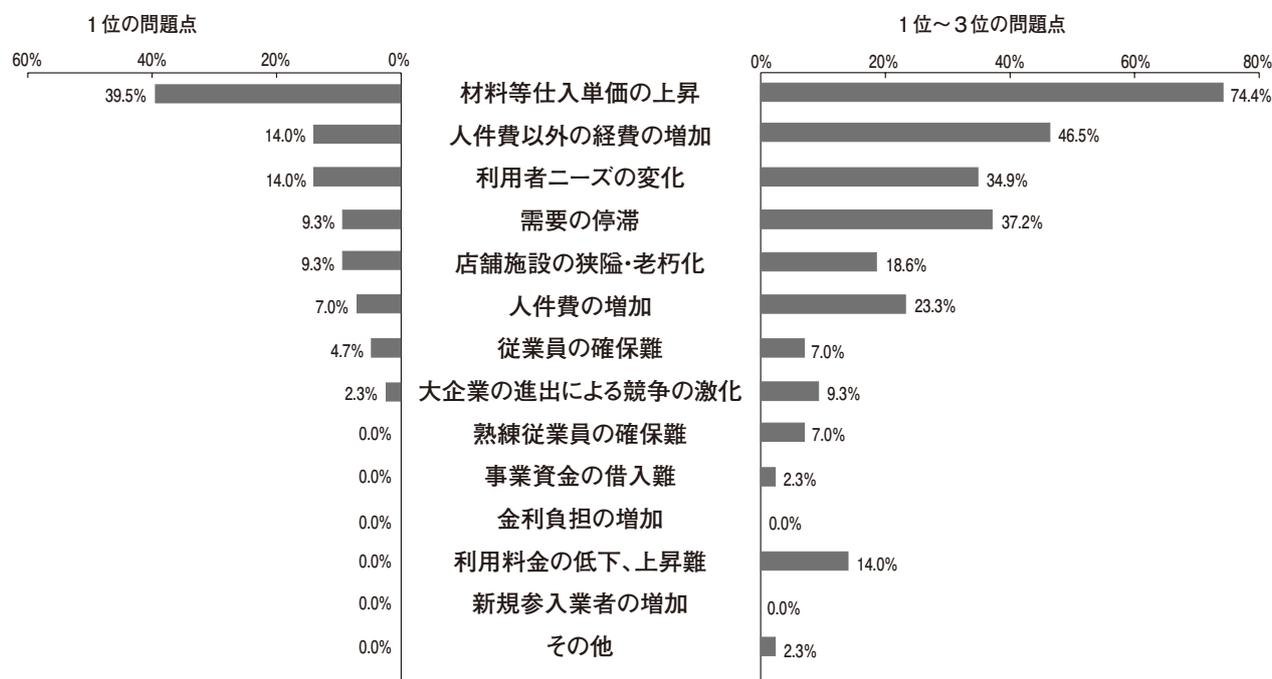
- ②来期見通し 「好転」6.0%（前期は2.4%、前年同期は8.3%）、「不変」64.0%（前期は69.0%、前年同期は60.4%）、「悪化」30.0%（前期は28.6%、前年同期は31.3%）
- ③資金繰り 前期と比較で、「好転」0.0%（前期は0.0%、前年同期は4.1%）、「不変」72.0%（前期は76.0%、前年同期は77.5%）、「悪化」28.0%（前期は24.0%、前年同期は18.4%）
来期見通しは、「好転」2.0%（前期は0.0%、前年同期は4.2%）、「不変」82.0%（前期は78.6%、前年同期は77.0%）、「悪化」16.0%（前期は21.4%、前年同期は18.8%）

3 設備投資の状況



今期に新規設備投資を実施した企業6社（サービス2、建物1、車両・運搬具1、付帯施設1、OA機器1、その他1）、実施しなかった企業44社。来期に設備投資を予定している企業10社（車両・運搬具4、サービス3、建物2、その他2、土地1、付帯施設1、OA機器1）、予定していない企業40社。

4 経営上の問題点の状況（1位と1～3位）

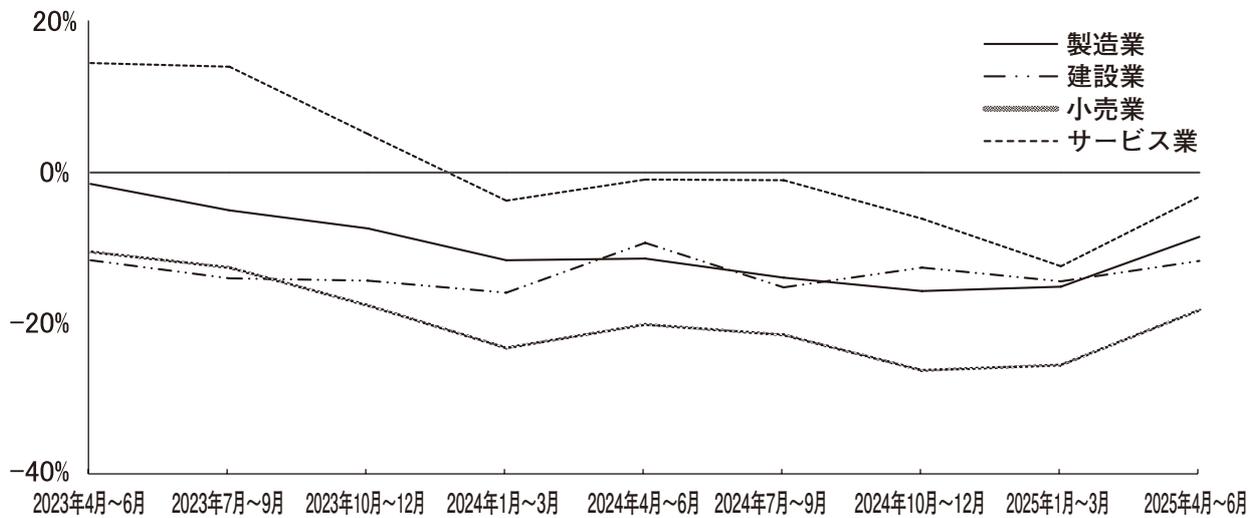


「需要の停滞」・「材料等仕入単価の上昇」の割合が低下し、「利用者ニーズの変化」・「人件費以外の経費の増加」の割合が上昇した。

借入金利 前期と比較で「好転」15.8%（前期は11.9%、前年同期は7.7%）、「不変」81.6%（前期は85.7%、前年同期は89.7%）、「悪化」2.6%（前期は2.4%、前年同期は2.6%）

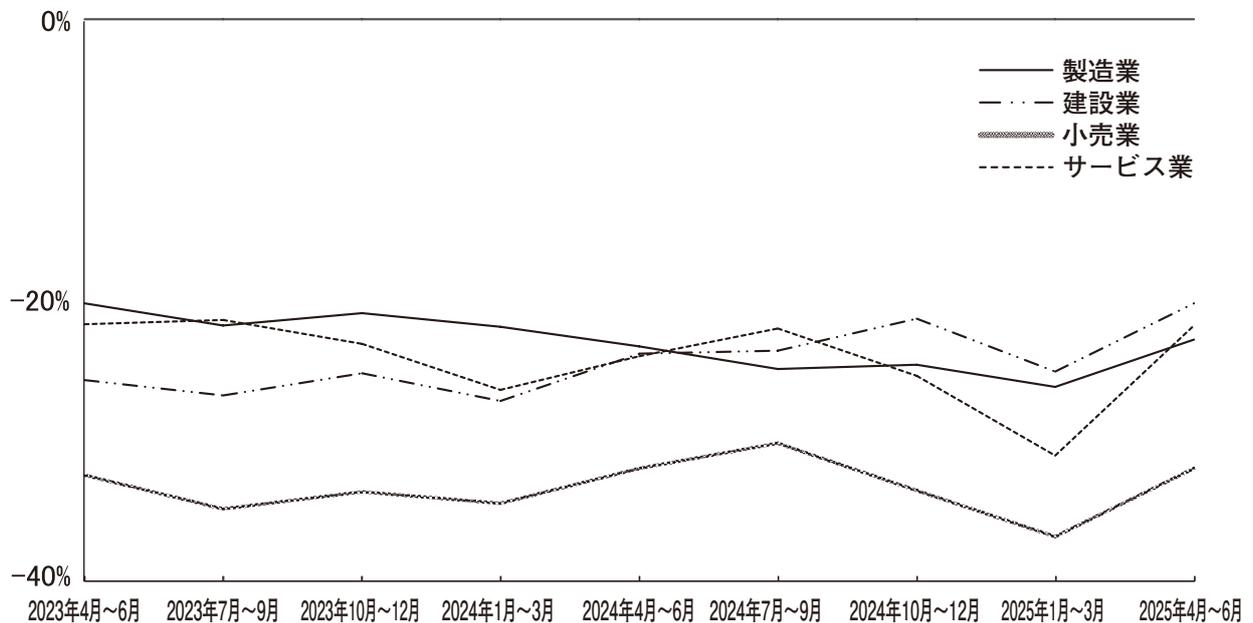
6. 全国 全産業

1 売上（完成工事）額の推移 —前年同期比—



D I 値 製造業-8.5（前期は-15.1、前年同期は-11.4）、建設業-11.7（前期は-14.4、前年同期は-9.3）、小売業-18.2（前期は-25.5、前年同期は-20.1）、サービス業-3.2（前期は-12.4、前年同期は-0.9）

2 採算の推移 —前年同期比—



D I 値 製造業-22.9（前期は-26.3、前年同期は-23.4）、建設業-20.3（前期は-25.2、前年同期は-23.9）、小売業-32.1（前期は-37.0、前年同期は-32.1）、サービス業-21.9（前期は-31.2、前年同期は-24.1）

7. 山口県 調査対象企業の声

■製造業■

- みその原料である米が入手できない。仕入値も高く採算割れになる。主力であるわさび製品の原料も自社だけでは不足しているが、近隣での仕入も難しい。
- 景気の抜本的な回復が必要である。
- 一過性の人口ではなく、滞在型の人口増を願う。
- ニーズにあっていない。別種を考える必要がある。
- 価格転嫁による売上増加と社員の賃金上昇は着実な反面、社員の確保について継続的な不安がある。また、トランプ大統領の政策が今後に与える影響が未知数であり不透明である。

■建設業■

- 建築法の改正により建設許可の取得に時間が掛かるようになり、着工が遅れるようになった。
工期が全体的に延びるため、資金繰りへの影響が懸念される。
- 材料費の高騰に発注者が追い付いていないので、自社に負担がかかる。
- 最近では近場での仕事がなく、ほぼ町外の下請け受注で工事をもらっている状況であるため、元請け会社の受注の減少等が不安である。
- 公共事業の減少、材料価格の上昇、従業員の確保難等、これからの事業運営に大変不安を感じている。今後の国の政策等に期待するところである。
- 県関係の資材（ブロック等）の支払いが組合通しになることでサイトが短くなり、高額を支払金額の場合は資金繰りがむずかしくなる。

■小売業■

- 大型店舗との販売価格の差が著しく、経営を圧迫している。
- 客層の高齢化等による消費・需要の減少が著しく感じられる。今後は町外にも力を入れるべく、設備を強化し販売力を上げていきたい。

- 地域内の人口減少が進む中、観光客の街中への誘導も出来ていない。指定管理受託により運営している施設であり、行政や他の関連団体との協力・連携の強化が重要と考える。
- 物価高が続くうちは顧客の財布のヒモが固い。酒類や食品で、無くても良いものは売れなくなっている。
- 顧客数、客単価の減少。必要な商品しか買わない。イベントに出るなど店舗と並行して日々の売上を上げる必要がある。
- 仕入単価の上昇により売買差益が減少している。
- 当店の顧客は、高齢者が多く、家族も少ない為、客単価においても低い傾向にある。そのような中で、食品の値上げや、光熱費の高騰により、節約志向が先行して、家電製品の需要は停滞している状況にある。
- 地域全体の人口減少及び高齢化の進行により、働き手や消費者を含め、地域が衰退化している状況にある。地域の伝統文化を守り、地域を元気にするための取り組みを継続していきたいと思います。
- 年々農家の減少や、販売価格の上昇により業況は悪化している。

■サービス業■

- 原材料の高騰が続いており、価格転嫁に伴う値上げを何度か行っている。仕入値の上昇には対抗策があるが、今回の米のような原材料の確保難に懸念を感じている。
- 仕入単価の上昇を価格に上乗せしづらく、思うように利益が出づらい。食品ロスをなくすことに迫力するしかない。
- 利用者数、売上など業況は好転しているが、飲食店の場合、材料価格や経費の増加を価格に転嫁しづらく、採算としてはトントンか悪化している。厳しい状況は今後も続くと思われます。
- 食材等の高騰で値上げをせざるを得ない状況。減税や補填など、何らかの対策を自治体のみでなく国単位で考えて実施してほしい！
- 仕入や経費の増加にともない値上げを余儀なくしたが、売上はそこまで伸びてはこない。利用回数の減少や、離れてしまった人もいる。
- BtoBでの受注は、単価を下げられることや物価高騰分の価格転嫁が難しい状況である。BtoCの場合でも物価の上昇により、サービスを控えたり先延ばしされることも増えてきた。

- 食材等、材料の確保及び料金体系の見直しが必要である。
- 人口減少、高齢化に伴い、免許返納などで来客数が減少している。仕入値が高くなり利益が減少している。
- 従業員の確保難により、来店客に制限をかけている状況であり、かき入れ時に、十分な売上が確保できていない状況。
- 今期は、なんとか前年同期水準でいけそうだが、来期は仕入単価の上昇や物価高騰による経費の増加が影響し、業況は悪化するだろうと思っている。